

## ほっとnews

発行人/医療法人社団和恒会 2013年4月発行  
 呉市広白石4丁目7番22号 TEL(0823)70-0555 <http://www.wekokai.jp/>

## ふたば病院が「広島県認知症疾患医療センター」に

### 指定されました!

このたび当院が広島県認知症疾患医療センターとして指定されましたことをご報告いたします。周知のとおり認知症患者さんは年々増加していますが、先日厚生労働省から10年前の予想をはるかに上回るスピードで増えているというデータが発表されました。2012年において305万人、すなわち65歳以上の高齢者の約10%が認知症を患っており、これは10年前に比し倍増したこととなります。現在認知症は、緊急性が高く広範で継続的に社会を挙げて取り組むべき疾患として、糖や糖尿病やうつ病と同様に挙げられており、その対策が急務となっています。

一方認知症の代表的疾患であるアルツハイマー型認知症の新しい薬物が一昨年次々と発売され、治療の選択肢が以前より拡がってきています。しかし、現時点では認知症の根本的治療となるものはなく、いかに早期

に発見し、いかに治療やケアを進め、いかに周囲が関わるか、という視点が大切であると言われていきます。これらのことをふまえ、認知症患者さんが住み慣れた地域でできるだけ長く安心して過ごしていただけるような支援を行っていくという方針のもと、その一つとして、平成20年より全国に認知症疾患医療センターが設置されています。広島県・市ではすでにメープルヒル病院、三原病院、草津病院が指定され運営されています。このたび呉二次保健医療圏域(呉市と江田島市)におけるセンターとして広島県より当院が指定され、2月7日より稼働することとなりました。業務内容としては、①専門医療相談、②鑑別診断・初期対応、③周辺症状や身体合併症への急性期対応、④地域保健医療関係者への研修実施、⑤医療福祉関係者との連携協議会開催、⑥情報発信、です。当

院の一部門として組織され、担当スタッフは濱田精神保健福祉士(専従)、小川精神保健福祉士(専任)、末永臨床心理士(専任)、それと高見(専任)の4名となります。基本的にはこれまで当院が行ってまいりました地域精神医療、認知症医療の延長線上にあるものではありませんが、より一層地域における医療介護連携体制の強化を図り、その中核機関としての役割を担っていくこととなります。もちろん、センターだけでなく、身近なものではなく、みなさまのご理解とご協力が不可欠であることは言うまでもありません。このたびの指定が和恒会にとりまして初春の吉報となりますよう努めてまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

認知症疾患医療センター

センター長

高見 浩

## <認知症疾患医療センターについて>

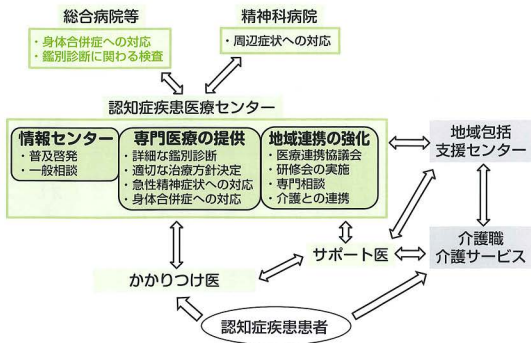
### 目的

- ・認知症高齢者の増加等に対応するため、認知症医療提供体制の整備を進めるとともに、医療・介護連携体制の強化を図る
- ・地域における認知症疾患の保健医療水準を向上させる

### 事業内容

- ・専門医療相談  
初診前医療相談、情報収集・提供、介護サービスとの連絡調整
- ・鑑別診断とそれに基づく初期対応  
初期診断、鑑別診断、治療方針の選定、入院先紹介
- ・合併症や周辺症状への急性期対応  
初期診断・治療、連携する医療機関への紹介
- ・かかりつけ医等への研修会の開催  
保健医療関係者等への研修実施
- ・認知症疾患医療連携協議会の開催  
保健福祉医療関係者、地域包括支援センターなどから組織された協議会の開催
- ・情報発信

## <認知症疾患医療センター運営事業>



# 認知症疾患医療センター スタッフ紹介



精神保健福祉士  
濱田 識敬

この度認知症疾患医療センター担当の相談員として配属させて頂きました濱田識敬（のりゆき）と申します。

当センターをご利用頂くにあたって最初にお話を聞かせ頂きます。不安な点や心配なこと、現在お困りのことなど安心してお話していただけるように

心がけます。また、とかく認知症は判断能力が低下し意思を伝えることが困難となる事がありますが、ご本人様を中心とし、また、今までの人生を尊重できるようにご本人様に安心して頂けるよう支援を行っていただければと思っております。

関係機関とのネットワーク構築についても力を入れてまいりますと思っております。協議会等を通じて顔の見える連携体制を構築し、「そうだ！認知症疾患医療センターの濱田に電話してみよう！」と思われるように努力してまいります。

至らない部分もあり皆様にはご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、日々研鑽を積み、少しでも多くのご相談に乗らせて頂き、少しでも多くの方が安心して生活を過ごして頂けるよう、その一部分でもお手伝いをさせて頂ければと思いますのでよろしくお願い致します。



精神保健福祉士  
小川 健太郎

この度、広島県より「認知症疾患医療センター」の指定を受け、いよいよ今春より当院が呉圏域の「認知症疾患医療センター」としてスタートすることとなりました。

同センターの役割は認知症に関する専門医療相談や鑑別診断などを行い、地域の保険医療・介護機関

と連携を図り地域の認知症疾患対策の拠点となることです。

私たちが担当することとなる呉圏域は全国でもトップクラスの高齢化率であり、今なお上昇が続いているなか、呉市は平成20年1月に広島県の「認知症にやさしい地域づくり支援事業」のモデルとして指定され既に認知症に対する本格的な取り組みをスタートさせています。こうした地域環境のなか、センター相談員として従事することに大きなプレッシャーを感じていますが、地域連携室での経験と反省を踏まえながら活かし、センター長となる高見副院長を中心としたスタッフと協力し、又、和恒会の皆さんの力をお借りしながら、呉圏域の認知症疾患の保健医療水準の向上の一端を担えればと考えています。



臨床心理士  
末永 修治

この度、認知症疾患医療センターのスタッフになりました、末永修治です。

私が、このふたば病院に就職した14年前は、認知症のことを「痴呆」と呼んでいた時代であり、入院されている患者様の数も今ほど多くなかったように記憶しています。

これまで様々な認知症の方とお会いしてきましたが、一口に認知症といっても症状の出方、認知機能の障害の程度、コミュニケーション能力の程度等、それぞれ皆さん違っておりまさに千差万別です。認知症が脳の病気であることは皆さんご存知かと思いますが、実は外的な要因も病気に大きく影響しています。つまり、その方が置かれている環境、周囲の人たちとのかかわりの良し悪しで症状の出方が変わってくることがあります。

認知症の患者様は色々な不安や苦痛を抱えておられますが、支える家族の方々の不安や苦痛もかなりのものでしょう。心理士の役割として、そのような御家族の相談にも応じ、お力になれたらと考えています。

# ごあいさつ

## 「共生」のために「安信」できる医療をめざして

和恒会は、平成9年設立の当初より、患者様に、少しでも社会で自立していただけるように、さまざまな支援をさせていただいております。おかげさまで、ふたば病院をはじめ各施設を数多くの皆様にご利用いただけるようになりました。

国は、患者様が病院ではなく地域の中で「共生」されることをめざしており、地域精神保健医療体系の再構築とその質の向上が必須であると考えております。

和恒会におきましても、これら国の方針に従って、自らを根本的に改革して行かなければなりません。そのためには、和恒会の中核であるふたば病院において、

専門職による多職種チーム医療をよりいっそう推進することにより、安心・安全で信頼（「安信」）できる医療を確立し、認知症をはじめあらゆる精神疾患の診断、治療そしてリハビリテーションはもとより、地域の皆様との連携を深めることで、地域での新たな疾患の発生を予防し、地域で生活しておられる患者様の生活に寄り添う（「アウトリーチ」）ことが求められております。

したがって、和恒会は、今後の50年をかけて、  
①専門職（医師、看護師、臨床心理技術者、作業療法士、精神保健福祉士および介護福祉士）はもとより事務職員を含めた人員の確保充実、②医療情報の共有・保守、③プライバシーの確保、という3つの課題に取り組むことで、地域のお役に立てるような精神科医療および介護の実現のために努力して参りますので、皆様の暖かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

医療法人社団和恒会 理事長

織田 一衛

## 和恒会の理念・目標・方針

和恒会は、和を恒にを念頭において、誰でもほっとする街づくりをめざします。そのために、次の基本方針で、保健・医療・福祉活動を展開します。

- 患者さん、利用者を中心とした心の通った支援
- 生活・活動拠点となる諸施設の整備・充実
- 施設間、施設と地域間の緊密な連携と信頼関係
- 人材の確保と教育・研修体制の充実
- 健康確保と働きやすい環境づくり

## 看護介護理念

私達は、病院の理念に基づいて、患者様の人権を尊重し、思いやりと優しさを持って信頼される看護・介護を目指します。

- 包容力
  - 探究心
  - 和力
- を強みにする看護

## 編集後記

暦の上では早4月を迎えています。まだ肌寒い日が続いています。  
気温も暖かくなったり寒くなったりで、体調の変化が気になります。服装などにも気をつけながら、しっかりと体調管理を行いましょう。  
さて、この度認知症疾患医療センター開設という吉報を載せて「ほっとニュース臨時号」を発行することができました。ご協力下さった皆さま本当にありがとうございます。  
次回も本誌発行に向けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。  
(編集委員一同)



## 医療法人社団和恒会の仲間たち

- ふたば病院
- 介護老人保健施設 バナケイア
- 在宅介護支援事業所 ふたば
- 訪問介護事業所 ふたば
- 認知症対応型共同生活介護 ふたばの家
- 共同生活介護 共同生活援助 ふたばの丘
- 地域活動支援センター ふたば
- 重度認知症患者デイケア ふたばの森
- 短期入所生活介護事業所 ふたばの里
- 高齢者複合福祉施設 ふたばの街
- 川尻・安部地域包括支援センター
- サービス付き高齢者向け住宅 ふたばハイムII